

道路の将来交通需要推計に関する検討会

設立趣旨

将来交通需要推計は、道路計画におけるネットワーク・構造規格の決定、環境アセスメント、道路が提供するサービスや採算性等を評価するための重要な根拠となるものであり、これまでも新たな知見を取り入れ、より信頼性の高い推計方法とするため改良を重ねてきたところである。

また、道路行政においては、より効果的・効率的な実施と、透明性・アカウントビリティが求められており、道路計画等の基礎となる将来交通量を得る交通需要推計については、その前提条件、推計モデル等について、高い客観性、合理性が求められている。

一方、交通需要推計を行うためには、社会経済の動向やそれらが将来交通量に及ぼす影響を判断し、これを定量化するためのモデル構築が必要となる。そのため、道路の将来交通需要推計において必要となる今後の交通動向の把握、推計モデルの妥当性等について検討を行い、必要な助言を得ることを目的として、本検討会を開催するものである。